

モンテビデオ声明と それ以降のインターネットガバナンス(IG)の動向

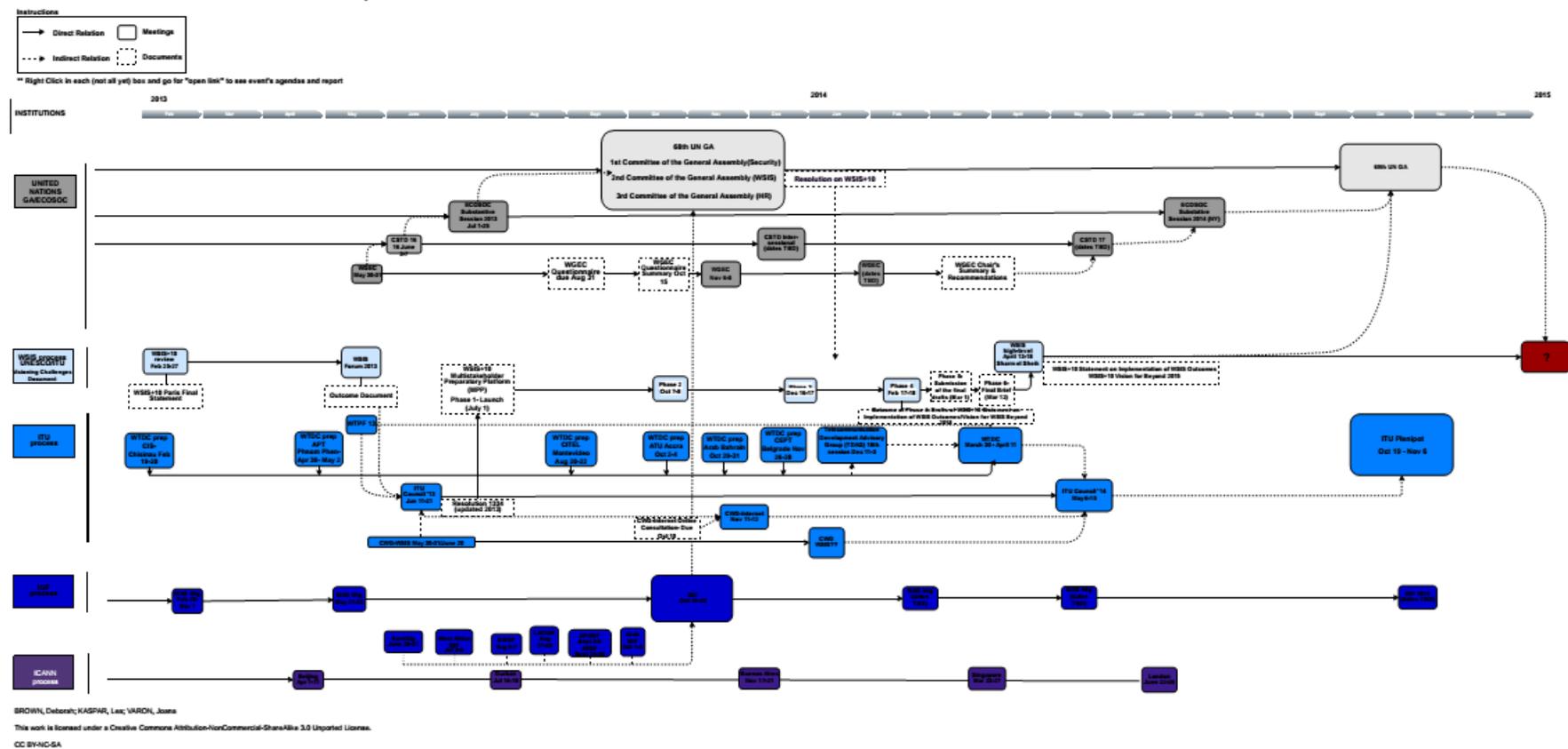
2013年11月26日
JPOPM25@Internet Week 2013

日本ネットワークインフォメーションセンター
インターネット推進部 前村 昌紀

ITUのPP14, 国連のWSIS+10に向けた動き

- PP14: 全権委員会議
- WSIS+10: WSISチュニス会議10周年レビュー
- 拡大協力 (enhanced cooperation) が焦点

Internet Governance Processes towards WSIS+10 / post-15



モンテビデオ声明

モンテビデオ声明

- <https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2013/20131008-01.html>

2013年10月8日	
各位	一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
インターネット関連10団体が 「今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明」を発表	
<p>グローバルなインターネットの技術調整を行う10団体(IAB、ICANN、IETF、ISOC、W3Cおよび五つの地域インターネットレジストリ(RIR))は、2013年10月7日、「今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明」と題した声明文を、共同で発表しました。</p> <p>この声明文は、現在インターネットの運営にあたり、特に関心事である「グローバルに調和の取れたインターネット運営」「インターネットガバナンス」「ICANNとIANA機能のグローバル化」「IPv6移行」の4点に対し、10団体共通の姿勢を表明するもので、先週モンテビデオで実施された共同検討会合の結果として発表されたものです。</p> <p>JPNICでは、この声明発表についてお知らせするとともに、参考までに和訳もあわせて提供します。</p>	
今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明(和訳)	
ウルグアイ 2013年10月7日	
<p>グローバルなインターネット技術基盤の調整に責任を持つ諸団体のリーダーたちは、ウルグアイのモンテビデオで会合を持ち、今後のインターネットに影響を及ぼす課題に関して検討しました。</p>	

4つの見解

- ・ グローバルに調和の取れたインターネット運営が重要であることをあらためて強調するとともに、国家レベルでのインターネットの分断に警鐘を鳴らす。最近明るみに出た広範に浸透している監視活動により、全世界の利用者の、インターネットに対する信頼と信任が損なわれる結果となっていることに、強い懸念を表明する
- ・ インターネットガバナンスの諸課題に対処する努力を続ける必要性を確認するとともに、インターネットにおけるグローバルなマルチステークホルダーによる協力体制の発展に向けた、全コミュニティに渡る努力を、協調的に推進していく
- ・ すべての政府を含む、すべてのステークホルダーが対等の関係で参加する環境に向けて、ICANNとIANA機能のグローバル化の加速を呼びかける
- ・ 現在もグローバルな最優先課題である、IPv6移行を呼びかける。特に、インターネットのコンテンツ事業者は、グローバルインターネットにおいて完全に到達可能となるために、IPv4、IPv6両方でコンテンツを提供しなければならない

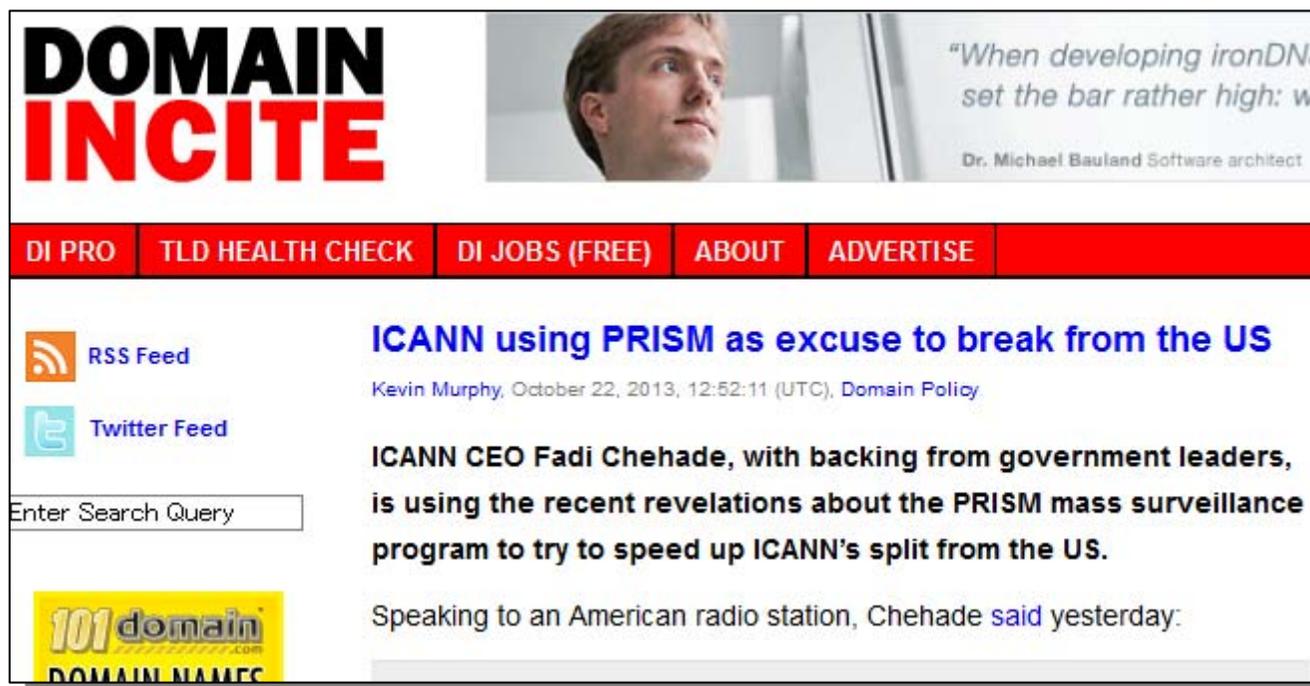
4つの見解(ハイライトは筆者)

- ・ グローバルに調和の取れたインターネット運営が重要であることをあらためて強調するとともに、国家レベルでのインターネットの分断に警鐘を鳴らす。**最近明るみに出た広範に浸透している監視活動**により、全世界の利用者の、インターネットに対する信頼と信任が損なわれる結果となっていることに、強い懸念を表明する
- ・ インターネットガバナンスの諸課題に対処する努力を続ける必要性を確認するとともに、インターネットにおけるグローバルなマルチステークホルダーによる協力体制の発展に向けた、全コミュニティに渡る努力を、協調的に推進していく
- ・ **すべての政府を含む、すべてのステークホルダーが対等の関係で**参加する環境に向けて、**ICANNとIANA機能のグローバル化**の加速を呼びかける
- ・ 現在もグローバルな最優先課題である、IPv6移行を呼びかける。特に、インターネットのコンテンツ事業者は、グローバルインターネットにおいて完全に到達可能となるために、IPv4、IPv6両方でコンテンツを提供しなければならない

PRISMから「IGサミット」

ICANNの米国脱却への動き？

- ・ ICANN using PRISM as excuse to break from the US
「ICANNがPRISM疑惑を米国脱却の言い訳に」
 - 10月22日 Domain Incite
<http://domainincite.com/14789-icann-using-prism-as-excuse-to-break-from-the-us>



The screenshot shows the Domain Incite website. At the top left is the logo "DOMAIN INCITE" in bold black and red letters. To the right is a photo of a man looking up, with a quote: "When developing ironDNS set the bar rather high: w" and "Dr. Michael Bauland Software architect". Below the logo is a red navigation bar with links: "DI PRO", "TLD HEALTH CHECK", "DI JOBS (FREE)", "ABOUT", and "ADVERTISE". On the left side, there are icons for "RSS Feed" and "Twitter Feed", and a search box labeled "Enter Search Query". The main content area features the article title "ICANN using PRISM as excuse to break from the US" in blue, followed by the author "Kevin Murphy, October 22, 2013, 12:52:11 (UTC), Domain Policy". The article text reads: "ICANN CEO Fadi Chehade, with backing from government leaders, is using the recent revelations about the PRISM mass surveillance program to try to speed up ICANN's split from the US." Below this, it says "Speaking to an American radio station, Chehade said yesterday:". At the bottom left of the screenshot is a yellow logo for "101 domain .COM" with "DOMAIN NAMES" below it.

PRISM疑惑とブラジル

- ・ PRISM疑惑は国際問題に発展
 - 大使館も盗聴の対象になっていた？
 - ブラジルがPRISM批判の急先鋒(国連総会9/24)
- ・ ブラジルという国：
 - ICANNに批判的なBRICS中興国の一翼
 - IGの体制論をITU会議体で主張
 - マルチステークホルダー(MSH)による、「ブラジル・インターネット調整委員会(CGI.br)」

「サミット」?

- ・ ICANN事務総長Fadi Chehadeはモンテビデオ合宿検討の帰路にブラジルに立ち寄り、Dilma Rousseff大統領と面談
- ・ 2013年10月10日、大統領は2014年4月にブラジルで「IGサミット」を開くと宣言
 - その後今までに明らかになったこと
 - ・ “Global Multistakeholder Meeting on the Future of Internet Governance”
 - ・ 2014年4月23日・24日 @サンパウロ
 - ・ IGの原則論と体制・枠組み論を話し合う
 - ・ 準備・実施の会議体構成

新たな体制の模索

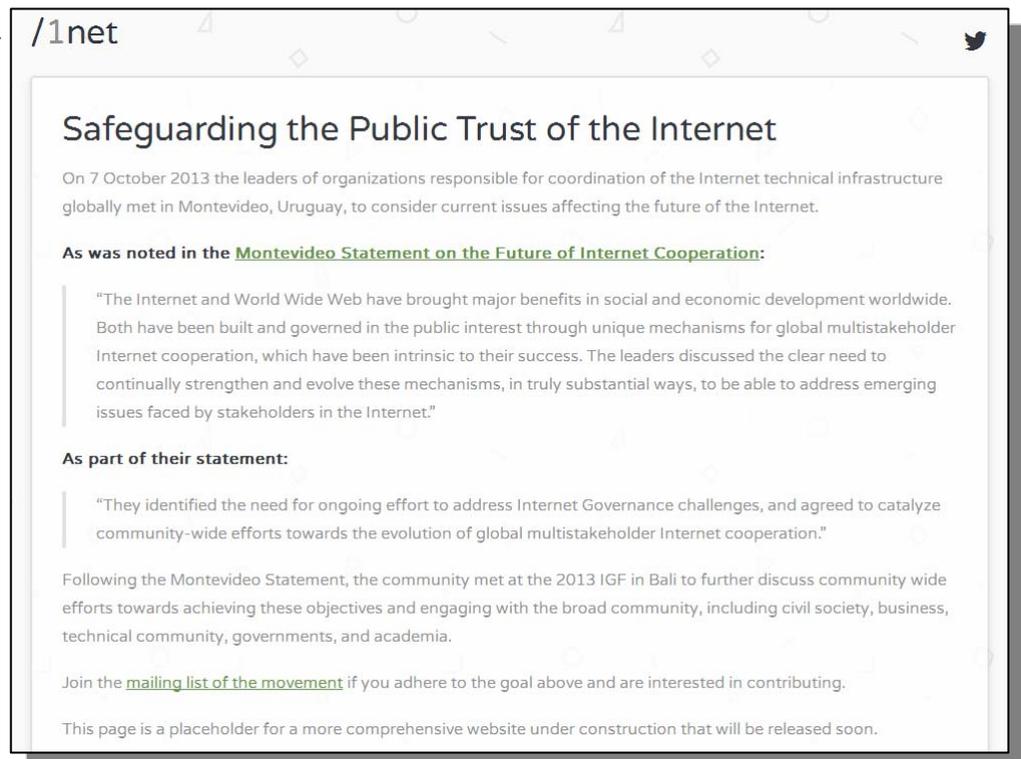
新たな体制の模索

- 「すべての政府を含む、すべてのステークホルダーが対等の関係で参加する環境に向けて、ICANNとIANA機能のグローバル化」
- ・ ICANNのグローバル化
 - 既に、ロサンゼルスにあった本社機構を、イスタンブールとシンガポールに分散する動きを進めている。
- ・ IANA機能のグローバル化 十
- ・ すべての政府...が対等の関係で
 - 米国(の契約に基づく業務遂行)脱却には、AoC(責務の確認)とIANA契約の整理が必要

IGFバリ(10/22~/25)

ICANNブエノスアイレス(11/17~/21)では

- ・ インターネット関連10団体から、ビジネスセクター、市民社会にも声をかけ、イメージの共有を図った。
 - グローバルなインターネット調整協力体制の検討
- ・ <http://www.1net.org/> マルチステークホルダーの検討プラットフォーム
 - メールングリスト



The screenshot shows a webpage from 1net with the following content:

Safeguarding the Public Trust of the Internet

On 7 October 2013 the leaders of organizations responsible for coordination of the Internet technical infrastructure globally met in Montevideo, Uruguay, to consider current issues affecting the future of the Internet.

As was noted in the [Montevideo Statement on the Future of Internet Cooperation](#):

“The Internet and World Wide Web have brought major benefits in social and economic development worldwide. Both have been built and governed in the public interest through unique mechanisms for global multistakeholder Internet cooperation, which have been intrinsic to their success. The leaders discussed the clear need to continually strengthen and evolve these mechanisms, in truly substantial ways, to be able to address emerging issues faced by stakeholders in the Internet.”

As part of their statement:

“They identified the need for ongoing effort to address Internet Governance challenges, and agreed to catalyze community-wide efforts towards the evolution of global multistakeholder Internet cooperation.”

Following the Montevideo Statement, the community met at the 2013 IGF in Bali to further discuss community wide efforts towards achieving these objectives and engaging with the broad community, including civil society, business, technical community, governments, and academia.

Join the [mailing list of the movement](#) if you adhere to the goal above and are interested in contributing.

This page is a placeholder for a more comprehensive website under construction that will be released soon.

今後の流れ

- ・ 2013/12/16-17 WSIS+10 MSH準備会議ph3
- ・ 2014/01 or /02 CSTD WGEC
- ・ 2014/02/17-18 WSIS+10 MSH準備会議ph4
- ・ 2014/02/18-28 APRICOT2014@バンコク
- ・ 2014/03/23-27 ICANNシンガポール会議
- ・ 2014/04/13-18 WSIS+10 ハイレベル会合
- ・ 2014/04/23-24 サンパウロIGミーティング
- ・ 2014/05/6-15 ITU理事会
- ・ 2014/06/22-26 ICANNロンドン会議
- ・ 2014/10/20-11/7 ITU全権委員会会議(釜山)
- ・ 2015 国連総会 (WSIS+10)
 - <http://bestbits.net/wp-uploads/diagram.html> に詳細線表あり

ご意見、ご質問

- JPNICでは今後とも積極関与し、適宜情報を提供してまいります。
 - <https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2013/20131119-03.html>

Japan Network Information... (JP) | <https://www.nic.ad.jp/ja/topics/2013/20131119-03.html> 4 ☆ ▼

2013年11月19日
各位
一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター
理事長 後藤滋樹

インターネットガバナンスに関する動向とJPNICの取り組みについて

動向

すでにお伝えしておりますように、2013年10月7日にインターネット関連10団体^{*1}により「今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明」^{*2}が発表されました。

この声明が発表された後、この10団体を中心としてインターネットガバナンスの新たな枠組みを構築する活発な取り組みが行われています。

2013年10月に開催されたIGFバリ会議^{*3}の終了後には、議論の結果に基づきインターネットガバナンスに関する協力のあり方を広く議論する「Inet.org」のWebサイトおよびメーリングリストが開設されました^{*4}。

また、ブラジル政府は現地時間2013年11月18日、インターネットガバナンスに関する国際会議を2014年4月23日および24日に開催すると発表し^{*5}、これに向けた議論や調整も盛んに行われるものと予想されます。

JPNICの取り組み

JPNICはこれまでインターネットガバナンスに関する議論に積極的に関与し、また併せてさまざまな情報提供を行ってまいりました。今後はますます議論が盛んに行われることとなりますが、より良いインターネットガバナンスのあり方を検討および構築するために、JPNICとしては引き続きこの動きに積極的に関与ならびに議論に参加するとともに、広く情報提供を行ってまいります。

本件に関するお問い合わせ先

ingov-query@nic.ad.jp

*1 IAB、ICANN、IETF、ISOC、W3C、および五つの地域インターネットレジストリ(RIR)：Afrinic、APNIC、ARIN、LACNIC、RIPE NCCのことを指します。
*2 インターネット関連10団体が「今後のインターネット協力体制に関するモンテビデオ声明」を発表
*3 <https://www.nic.ad.jp/ja/mailmagazine/backnumber/2013/vol1144.html#feature>
*4 <http://www.inet.org/>
*5 [ブラジル大統領府ブログ記事](#)(ポルトガル語)

以上